



2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年9月25日

上場会社名 株式会社 あさひ 上場取引所 東
コード番号 3333 URL <https://www.cb-asahi.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)下田 佳史
問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)森 茂 (TEL)06(6923)7900
四半期報告書提出予定日 2023年9月29日 配当支払開始予定日 2023年11月15日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の業績 (2023年2月21日～2023年8月20日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	43,763	4.9	4,218	△1.0	4,363	1.4	2,920	1.2
2023年2月期第2四半期	41,725	—	4,263	—	4,301	—	2,885	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	111.84	—
2023年2月期第2四半期	110.51	—

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期会計期間の期首から適用しており、2023年2月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年2月期第2四半期	百万円 52,284	百万円 37,418	% 71.6
2023年2月期	50,411	34,987	69.4

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期37,418百万円 2023年2月期34,987百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年2月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 28.00	円 銭 28.00
2024年2月期	—	22.50	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の業績予想 (2023年2月21日～2024年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	7.1	5,200	1.4	5,400	1.6	3,400	1.0	130.19

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期2Q	26,240,800株	2023年2月期	26,240,800株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	126,456株	2023年2月期	126,456株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期2Q	26,114,344株	2023年2月期2Q	26,114,344株

(注) 当社は2014年6月19日より「役員報酬BIP信託」を導入しております。

期末自己株式数には、当該信託が所有する当社株式(2024年2月期2Q 126,070株、2023年2月期 126,070株)を含めております。また、当該信託が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2024年2月期2Q 126,070株、2023年2月期2Q 126,070株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e tで本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、日米での金融政策の違いに伴う円安進行や、長期化するウクライナ情勢を背景とした資源・資材価格の高騰、生活必需品をはじめとした諸物価の上昇などにより先行き不透明な状況が続きました。また、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症に対する行動制限の緩和により、旅行、飲食、海外からの観光客の急回復が起こった一方で、耐久消費財については国内需要の低下が5月頃より急激に表はじめました。

自転車業界では、中国の自転車生産量が大きく回復した半面、販売価格の引き上げや諸物価上昇による消費者の低価格志向や修理需要の高まりなどから新車販売が鈍化しており、需給ギャップが顕在化しています。特に、スポーツサイクルではメーカーや販売店での在庫消化に時間を要しており、一転して値下げ販売を行なうなど、業界全体に減速感が漂う厳しい状況で推移しました。

当社におきましては、前年度期中の価格改定や「ネットで注文、お店で受取り」サービスの基盤強化によるEC販売の拡大、並びに全国の店舗に技能を有するスタッフを安定的に配置し修理・メンテナンス需要の増加にも対応したことで、前年度対比で売上高を伸ばすことができました。また、6月度には業界全体での需要減少の顕在化や天候不順による来店客数の伸び悩みで在庫水準が高くなってきたこともあり、7月度以降は販売強化策として、あさひオリジナル電動アシスト自転車「ENERSYS(エナシス)」や、当社が日本総販売代理権を有する「LOUIS GARNEAU(ルイガノ)」のブランド認知向上にむけた販促キャンペーンを実施しました。

なお、諸物価上昇による消費者の低価格志向化に伴って、自転車業界でもリユース商品への需要が高まりを見せています。当社のリユース事業では、商材を十分に確保するため、買取対象店舗数の拡充を進め、買取後の商品化作業を効率的に行なう機能を強化し、店舗及びECでの販売台数の増加につなげました。また、着用が努力義務となったことで需要が急増したヘルメットについては、依然として一般車向けのカジュアルタイプに人気が集中して一部モデルでは欠品が生じたものの、商材の安定確保を進めたことでパーツ・アクセサリーの売上高増加に貢献しました。

出退店の状況につきましては、関東地域に4店舗、近畿地域に2店舗を新規出店する一方で、関東地域の1店舗が契約期間満了に伴い退店を余儀なくされました。この結果、当第2四半期会計期間末の店舗数は、直営店506店舗、FC店18店舗のあわせて524店舗となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は43,763,626千円(前年同期比4.9%増)となりました。また、営業利益は4,218,701千円(前年同期比1.0%減)、経常利益は4,363,065千円(前年同期比1.4%増)、四半期純利益は2,920,723千円(前年同期比1.2%増)となりました。

なお、当社の事業は、単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて1,661,888千円(6.0%)増加し、29,299,944千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加3,830,552千円、商品の減少1,901,178千円、未着商品の減少424,365千円等によるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べて211,507千円(0.9%)増加し、22,984,942千円となりました。これは主に、建設仮勘定の増加256,951千円、ソフトウェア仮勘定の増加187,183千円、繰延税金資産の減少315,959千円等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて1,873,396千円(3.7%)増加し、52,284,886千円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて568,122千円(4.0%)減少し、13,753,418千円となりました。これは主に、未払法人税等の増加1,051,889千円、未払消費税等の増加656,969千円、買掛金の減少2,319,837千円等によるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べて10,639千円(1.0%)増加し、1,112,705千円となりました。これは主に、資産除去債務の増加14,579千円、長期未払金の減少7,020千円等によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて557,482千円(3.6%)減少し、14,866,123千円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて2,430,878千円(6.9%)増加し、37,418,763千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による増加2,920,723千円、剰余金の配当による減少734,731千円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は71.6%(前事業年度末は69.4%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ4,000,830千円増加し、9,296,676千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は6,134,758千円(前年同期は6,537,341千円の獲得)となりました。収入の主な内訳は、税引前四半期純利益4,357,214千円、棚卸資産の減少額2,344,156千円、減価償却費767,699千円、未払消費税等の増加額656,969千円等であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額2,319,837千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1,400,203千円(前年同期は1,250,403千円の使用)となりました。支出の主な内訳は、新規出店に係る有形固定資産の取得による支出1,051,867千円、無形固定資産の取得による支出265,319千円、差入保証金の差入による支出102,581千円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は733,725千円(前年同期は734,380千円の使用)となりました。これは、配当金の支払であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2023年4月3日の「2023年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月20日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,312,339	9,142,892
売掛金	3,527,730	3,302,341
商品	16,483,389	14,582,210
未着商品	1,546,094	1,121,728
貯蔵品	161,824	143,212
その他	607,637	1,008,518
貸倒引当金	△960	△960
流動資産合計	27,638,055	29,299,944
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,810,806	8,905,399
土地	3,163,012	3,163,012
その他（純額）	1,426,329	1,824,258
有形固定資産合計	13,400,147	13,892,669
無形固定資産		
	835,647	940,523
投資その他の資産		
差入保証金	5,150,966	5,160,270
建設協力金	851,121	799,877
その他	2,539,355	2,194,926
貸倒引当金	△3,805	△3,325
投資その他の資産合計	8,537,638	8,151,749
固定資産合計	22,773,434	22,984,942
資産合計	50,411,490	52,284,886

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年2月20日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,176,487	2,856,650
未払法人税等	354,296	1,406,186
契約負債	4,296,017	4,288,031
賞与引当金	954,222	994,449
株主優待引当金	214,076	115,956
その他	3,326,439	4,092,143
流動負債合計	14,321,540	13,753,418
固定負債		
株式報酬引当金	134,750	143,900
資産除去債務	716,650	731,229
その他	250,664	237,575
固定負債合計	1,102,065	1,112,705
負債合計	15,423,605	14,866,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,061,356	2,061,356
資本剰余金	2,165,171	2,165,171
利益剰余金	31,100,689	33,286,680
自己株式	△180,112	△180,112
株主資本合計	35,147,103	37,333,095
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△159,218	85,668
評価・換算差額等合計	△159,218	85,668
純資産合計	34,987,884	37,418,763
負債純資産合計	50,411,490	52,284,886

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年2月21日 至2022年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自2023年2月21日 至2023年8月20日)
売上高	41,725,707	43,763,626
売上原価	21,771,568	23,057,587
売上総利益	19,954,138	20,706,039
販売費及び一般管理費	15,691,075	16,487,337
営業利益	4,263,063	4,218,701
営業外収益		
受取利息	21,554	19,784
受取家賃	58,396	55,648
為替差益	—	535
受取手数料	37,414	36,717
受取補償金	42,134	46,045
その他	17,697	39,941
営業外収益合計	177,197	198,672
営業外費用		
為替差損	83,589	—
不動産賃貸原価	46,761	42,032
その他	8,278	12,276
営業外費用合計	138,629	54,308
経常利益	4,301,630	4,363,065
特別損失		
固定資産除売却損	3,699	4,802
減損損失	19	1,048
特別損失合計	3,719	5,850
税引前四半期純利益	4,297,911	4,357,214
法人税、住民税及び事業税	1,055,000	1,228,000
法人税等調整額	357,006	208,491
法人税等合計	1,412,006	1,436,491
四半期純利益	2,885,905	2,920,723

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年2月21日 至2022年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自2023年2月21日 至2023年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	4,297,911	4,357,214
減価償却費	706,918	767,699
減損損失	19	1,048
長期前払費用償却額	11,125	10,982
建設協力金の家賃相殺額	160,762	155,427
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△480	△480
賞与引当金の増減額(△は減少)	37,747	40,227
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△88,179	△98,120
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	8,000	9,150
受取利息及び受取配当金	△21,554	△19,784
受取補償金	△42,134	△46,045
固定資産除売却損益(△は益)	3,699	4,802
売上債権の増減額(△は増加)	92,019	225,388
棚卸資産の増減額(△は増加)	972,461	2,344,156
未収入金の増減額(△は増加)	17,423	△57,204
仕入債務の増減額(△は減少)	△24,423	△2,319,837
契約負債の増減額(△は減少)	△92,606	△7,985
未払消費税等の増減額(△は減少)	716,401	656,969
未払金の増減額(△は減少)	△20,159	△47,108
未払費用の増減額(△は減少)	265,722	217,142
その他	111,956	111,140
小計	7,112,632	6,304,785
利息及び配当金の受取額	23	19
補償金の受取額	33,284	45,563
法人税等の支払額	△608,600	△215,608
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,537,341	6,134,758
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,035,251	△1,051,867
無形固定資産の取得による支出	△118,233	△265,319
貸付けによる支出	△900	△1,070
貸付金の回収による収入	900	1,170
長期前払費用の取得による支出	△6,739	△8,872
資産除去債務の履行による支出	△3,300	—
差入保証金の差入による支出	△108,025	△102,581
差入保証金の回収による収入	21,146	28,336
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,250,403	△1,400,203
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△734,380	△733,725
財務活動によるキャッシュ・フロー	△734,380	△733,725
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,552,557	4,000,830
現金及び現金同等物の期首残高	6,135,378	5,295,845
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,687,936	9,296,676

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期累計期間(自 2022年2月21日 至 2022年8月20日)

(単位:千円)

	品目別				
	自転車	パーツ・アクセサリ	ロイヤリティ	その他	合計
一時点で移転される財又はサービス	30,821,315	6,865,157	—	2,549,178	40,235,651
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	—	83,278	1,406,777	1,490,056
顧客との契約から生じる収益	30,821,315	6,865,157	83,278	3,955,956	41,725,707
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	30,821,315	6,865,157	83,278	3,955,956	41,725,707

(注) 1. 当社の事業は、単一セグメントであるため、セグメント別の内訳は記載しておりません。

2. 「その他」には、各種整備、修理等の付帯サービス及び長期保証サービス等を含んでおります。

当第2四半期累計期間(自 2023年2月21日 至 2023年8月20日)

(単位:千円)

	品目別				
	自転車	パーツ・アクセサリ	ロイヤリティ	その他	合計
一時点で移転される財又はサービス	31,302,508	7,775,432	—	3,211,983	42,289,924
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	—	83,336	1,390,365	1,473,702
顧客との契約から生じる収益	31,302,508	7,775,432	83,336	4,602,348	43,763,626
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	31,302,508	7,775,432	83,336	4,602,348	43,763,626

(注) 1. 当社の事業は、単一セグメントであるため、セグメント別の内訳は記載しておりません。

2. 「その他」には、各種整備、修理等の付帯サービス及び長期保証サービス等を含んでおります。